

Ⅲ 環境分野

(自然との共生、低炭素・循環による持続可能な地域社会)

Ⅲ－１ 自然と共生する「暮らし」や「生業（なりわい）」を育む環境づくり

Ⅲ－１－① 世界自然遺産白神山地や貴重な自然の保全と活用

施策関係課 環境生活部自然保護課
 県土整備部都市計画課

◎施策の説明

世界自然遺産白神山地など貴重な自然を保全し、生物多様性を守る取組を進める。エコツーリズムや来訪者の受入れを支える人材育成などに取り組む。

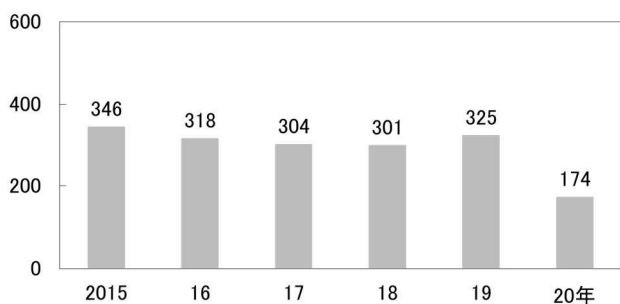
◎令和３年度の実施状況と成果

白神山地の価値と魅力を広く県民に伝えるため、白神山地の自然や体験プログラムを360度バーチャル映像等で紹介する展示会「白神山地VR（バーチャルリアリティ）体験×写真展」を八戸市及び十和田市で開催したほか、白神山地体験プログラム予約サイトにおいてオフシーズン利用促進キャンペーンを展開した。また、インバウンド対策として、欧米豪向け日本情報専門ウェブサイトから、白神山地の自然や文化等について情報発信した。

ベンセ湿原の魅力や価値への理解を促進するため、地元小学生、ボランティアガイド、地域住民・企業等を対象に、湿原地域の植物、野鳥及び水生生物の自然観察会を開催したほか、自然環境の保全に関する現状・課題及びその保全活動に関するノウハウ等を地域住民・企業等で共有するため、県外の先進事例等を学ぶ勉強会などを開催した。

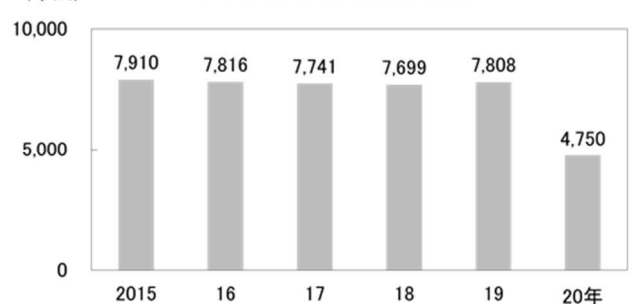
◎関連する指標の動向等

（千人） 白神山地入込者数の推移



資料：観光国際戦略局

（千人） 自然公園入込者数の推移



資料：観光国際戦略局

◎令和３年度の主要事業の実績

(単位：千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
世界自然遺産地域管理事業 (環境生活部自然保護課)	白神山地巡視日数 延べ223日	2,422
白神山地ビジターセンター管理運営事業 (環境生活部自然保護課)	入館者数 26,588人 自然観察会開催回数 9回	68,954

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
世界自然遺産白神山地の価値と魅力を伝えるプロジェクト事業 (環境生活部自然保護課)	白神山地VR(バーチャルリアリティ)体験×写真展 来場者数 708人 欧米豪向け情報発信 ・VOYAPON(英語・フランス語・ドイツ語・スペイン語記事)4言語×2本=8本 ・ROUGH GUIDES(英語記事)1本	6,037
みんなで守る湿原保全活動推進事業 (環境生活部自然保護課)	自然観察会開催回数 5回 自然環境の保全方法や活用方法に関する勉強会開催回数 1回 保全活動プログラム検討会開催回数 4回	4,409
自然公園管理指導等事業 (環境生活部自然保護課)	許可等件数 163件 自然公園巡視日数 延べ173日	4,324
保全地域管理事業 (環境生活部自然保護課)	自然環境保全地域巡視日数 延べ207日	1,431
あおもり景観・観光まちづくり推進事業 (県土整備部都市計画課)	空き家・空き地利活用勉強会実施回数 3回 景観実証実施件数 4件 景観観光まちづくりフォーラムの開催回数 1回	5,390

Ⅲ-1-② 豊かな森林と身近な里地里山の保全と活用

施策関係課 環境生活部自然保護課
農林水産部食の安全・安心推進課
林政課

◎施策の説明

森林整備による森林の多面的機能の維持・向上、県民に身近な里山の保全と活用、広域的連携による野生鳥獣の保護や適正管理に取り組む。

◎令和3年度の実施状況と成果

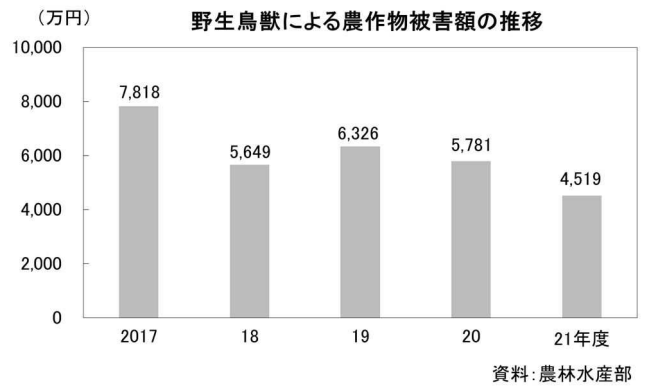
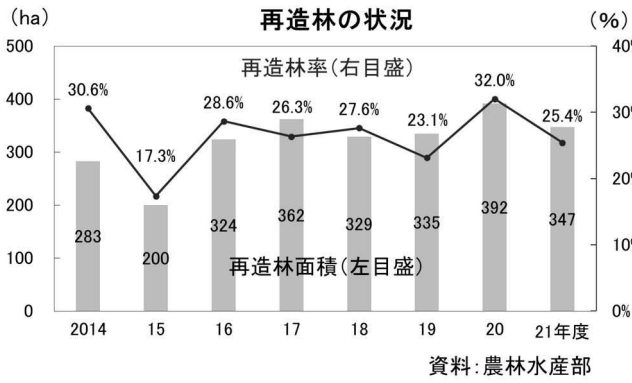
ニホンジカに関する捕獲事業の実施、国や隣接県等との連携強化、狩猟者の確保・育成など捕獲体制の整備に取り組むとともに、ツキノワグマやニホンザル、イノシシに関する調査等を実施したほか、農作物被害防止のため、被害の確認や捕獲技術の習得に向けた研修等を実施した。

松くい虫被害やナラ枯れ被害防止のため、空中写真撮影や監視員による枯死木等の監視、媒介昆虫の生息調査、被害木の速やかな駆除等を実施した。

森林の持つ多面的な機能の発揮に向けて、山地災害防止のための施設整備や保安林機能の回復に必要な森林整備等を行うとともに、県民環境林等の整備を進めた。

再生林の推進に向けて、有識者及び関係団体等による委員会を設置し、林地保全に配慮した伐採と低コスト再生林を促す事業体向けガイドライン及び所有規模や自然条件等に応じたきめ細かな森林所有者向け森林経営プランについて検討を行った。

◎関連する指標の動向等



指定管理鳥獣(ニホンジカ)の目撃及び捕獲頭数の推移

(単位: 件、頭)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020年度
目撃件数	87	118	175	157	232	290
目撃頭数	120	160	222	216	350	382
捕獲頭数(※)	16	28	52	49	60	104

※ 捕獲頭数には、捕獲事業や狩猟、有害鳥獣捕獲に加えて交通事故等による死亡個体が含まれる。

資料: 環境生活部

狩猟免許交付状況

(単位: 人)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020年度
交付者数	1,400	1,504	1,634	1,627	1,667	1,785
新規取得者数	93	159	151	145	168	224

資料: 環境生活部

◎令和3年度の主要事業の実績

(単位: 千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
自然と生活を守る大型獣管理対策事業 (環境生活部自然保護課)	青森県指定管理鳥獣(ニホンジカ)管理対策評価科学委員会開催回数 2回 指定管理鳥獣捕獲等事業実施地域数 2地域 青森県大型獣捕獲講習会開催日数 4日	19,031
鳥獣被害防止対策実施体制強化事業 (農林水産部食の安全・安心推進課)	有害鳥獣の被害防止対策研修会開催回数及び参加者数 3回、延べ154人 鳥獣被害防止対策に係る専門家の派遣回数 1回	2,471
松くい虫被害予防総合対策事業 (農林水産部林政課)	林内整理(除伐)面積 7.78ha 空中写真撮影による枯死木調査面積 83km ² 誘引器設置箇所数 92箇所 松くい虫防除監視員設置人数 31人	17,469
県民環境林管理・経営事業 (農林水産部林政課)	委託事業者による森林整備面積 291ha 森林作業道開設延長 9,310m	97,348
林地保全型伐採・再造林推進事業 (農林水産部林政課)	林地保全型伐採・再造林推進委員会開催回数 2回 再造林重点推進地域の指定数 21地区	1,095

Ⅲ－１－③ 地域の協働による健全な水循環の確保

施策関係課 環境生活部環境保全課
 農林水産部農林水産政策課
 食の安全・安心推進課
 畜産課
 林政課
 農村整備課
 水産局漁港漁場整備課
 県土整備部河川砂防課
 都市計画課

◎施策の説明

山・川・海を一体的に捉え、協働による健全な水循環確保に取り組む。

◎令和3年度の実施状況と成果

環境保全活動に対する意識啓発等に取り組み、「ふるさとの水辺サポーター」の登録を進めた。

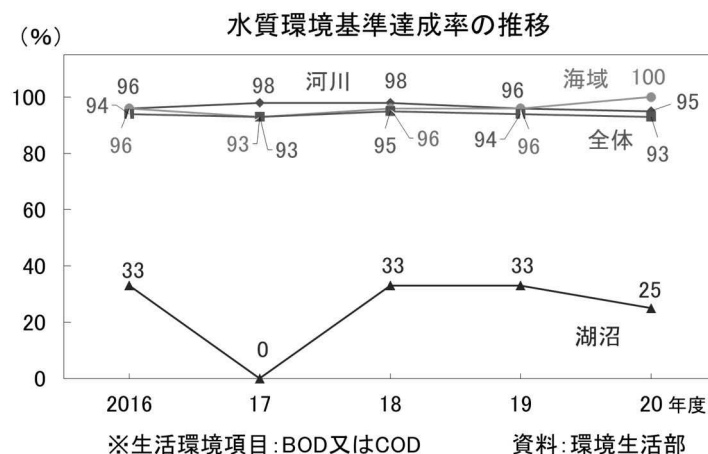
下水道処理施設、農業・漁業集落排水施設、合併処理浄化槽の整備促進や生活排水対策の意識啓発、公共用水域の水質監視等に取り組んだ。

農業生産活動による環境負荷の低減に向けて、「あおり土づくりの匠」による技術指導、エコ農業チャレンジ塾開催による環境にやさしい農業の栽培技術の向上や知識習得などに取り組んだ。

地域ぐるみの協働活動を支援し、水路や農道の保全活動に取り組んだ。

農地や農業水利施設、漁港漁場、草地、森林等の生産基盤や農村環境の整備のほか、地区環境公共推進協議会の設立と人材育成に取り組んだ。

◎関連する指標の動向等



◎令和3年度の主要事業の実績

(単位: 千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
十和田湖水質改善事業 (環境生活部環境保全課)	十和田湖水質モニタリング実施回数	3回
		556

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
水質監視・調査費 (環境生活部環境保全課)	公共用水域水質モニタリング調査地点数 128地点	39,280
浄化槽整備費補助 (環境生活部環境保全課)	補助対象市町村：青森市ほか27市町村	25,895
互いに学び支える水循環システム保全事業 (農林水産部農林水産政策課)	小学生を対象とした水循環システムを学ぶ校外学習会開催回数 11回	1,874
「土の見える化」が拓く農業生産ステップアップ事業 (農林水産部食の安全・安心推進課) ※p. 6を再掲	土壌三要素分析の総合診断に基づく課題解決型モデル実証ほ設置箇所数 8箇所 新規就農者等を対象としたエコ農業チャレンジ塾開催回数及び参加者数 6回、延べ101人 エコ農産物販売協力店舗数 150店舗	2,829
「日本一健康な土づくり運動」推進事業 (農林水産部食の安全・安心推進課) ※p. 7を再掲	「あおもり土づくりの匠」認定者数 5人 令和3年度末現在の認証GAP取得産地数 41産地	5,263
草地畜産基盤整備事業 (農林水産部畜産課)	草地整備面積 24.4ha 隔障物(牧柵)整備延長 962.0m 家畜排せつ物処理施設整備 1棟 雑用水施設整備 1箇所 防災施設整備 1箇所 〔実施地区：つがる北部、和平、むつ・東通〕	122,089
一般造林事業 (農林水産部林政課)	間伐(搬出間伐、保育間伐、除伐、更新伐)面積 1,098ha 人工造林(人工造林、樹下植栽)面積 348ha	914,121
基幹水利施設ストックマネジメント事業 (農林水産部農村整備課)	頭首工、用水路工一式ほか 〔実施地区：青森、相坂平幹線用水路、神明川原、引座川、久井名、下長2期、車力排水路、青森2期〕	331,034
農業集落排水事業 (農林水産部農村整備課)	補助対象市町村：平川市、鶴田町、十和田市、 おいらせ町	60,125
通作条件整備事業 (農林水産部農村整備課)	農道一式ほか 〔実施地区：小栗山、下湯口・原ヶ平、高杉・貝沢、五所川原、下田子、沖浦第2、下車力、五林平、南部町、五戸台地、地蔵平、瀬辺地、五所川原第二、田名部、小栗山2期、階上道仏、館、十和田南部、中部上北、新津軽大橋〕	1,450,708
集落基盤整備事業 (農林水産部農村整備課)	農業用排水路、農道一式ほか 〔実施地区：みさわ、弘前中央〕	204,546

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
農業水利施設魚道整備促進事業 (農林水産部農村整備課)	魚道工一式 (実施地区：五戸川、大滝堰、舞手、西越田中)	22,776
多面的機能支払事業 (農林水産部農村整備課)	農地維持支払交付金対象組織：469組織 資源向上支払交付金対象組織：392組織	1,550,847
漁業集落環境整備事業 (農林水産部水産局漁港漁場整備課)	補助対象市町村：深浦町ほか4市町村	152,995
ふるさとの森と川と海の保全 及び創造推進事業 (県土整備部河川砂防課)	ふるさとの水辺サポーター活動支援団体数 238団体	7,663
町村下水道事業緊急対策費補助 (県土整備部都市計画課)	補助対象町村：鱒ヶ沢町ほか5町	11,375

Ⅲ－２ 県民みんながチャレンジする低炭素・循環型社会づくり

Ⅲ－２－① 「もったいない」意識のもと県民一丸となった３Ｒの推進

施策関係課 環境生活部環境政策課
農林水産部食の安全・安心推進課

◎施策の説明

家庭、職場、学校、地域などあらゆる場面で、ごみの減量やリサイクルなど３Ｒの取組を拡大する。

◎令和３年度の実施状況と成果

県民総参加でごみ減量やリサイクルなどの３Ｒ推進に取り組むため「もったいない・あおり県民運動」を展開し、県民運動推進会議の構成団体等の取組事項を「アクションプログラム」として取りまとめたほか、優れた取組を行う事業所等の表彰を実施した。また、地球温暖化対策の取組促進に向け「あおり脱炭素チャレンジ宣言」を行った。

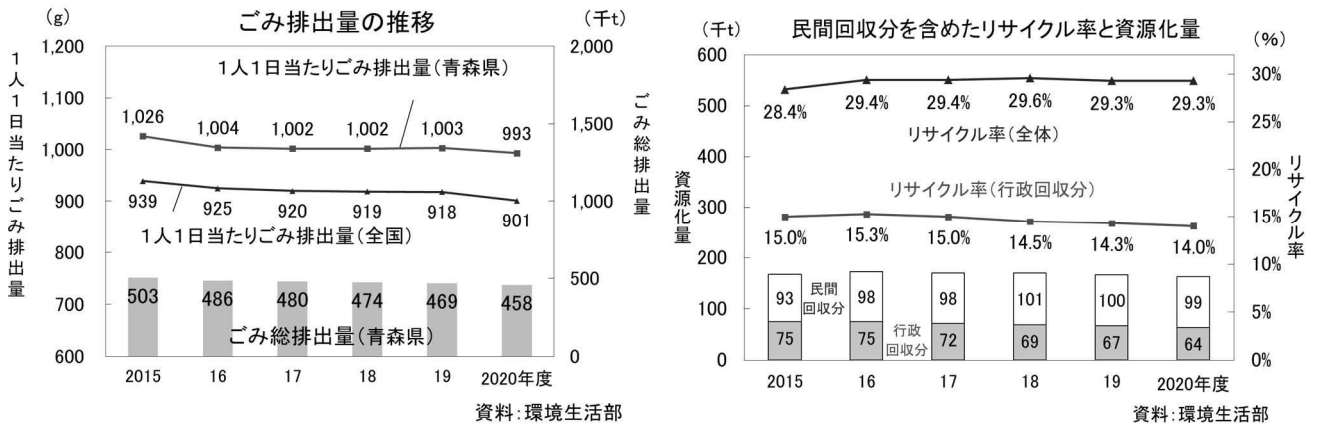
プラスチックごみ問題が地球規模で問題となっていることから、令和２年度の「あおりプラごみゼロ宣言」に基づき、県民行動の促進に向けたマイバッグ・マイボトル持参啓発等を行ったほか、イベントにおけるプラスチックごみ削減モデルの創出のため、リユース食器利用モデル事業を民間団体に委託して実施した。また、「あおり海ごみゼロキャンペーン」を実施し、青い森鉄道車体広告及びテレビCMを行うとともに、民間団体が行う海洋ごみの回収・発生抑制のための啓発活動等に対する支援を実施した。

県民一丸となって３Ｒに取り組む環境づくりを進めるため、県民向けの取組として、リサイクル資源は「ごみ」ではなく「原料」であることを、ポスターやインターネット広告等により啓発したほか、家庭における３Ｒ実践推進のため、県内全小学校の参加のもと、４つの３Ｒ行動に親子でチャレンジしてもらうとともに、食品ロス削減のため「てまえどり」普及のキャンペーンを行った。事業者向けの取組として、適正分別のためのガイドブックの作成・配布を行った。市町村等向けには、ごみ処理最適化を推進するための研修会をオンライン形式で、民間事業者を含めた３Ｒ推進地域連携会議を書面開催で実施した。また、市町村と合同で事業者の３Ｒ実践を促すための個別訪問を行った。

青森県認定リサイクル製品の認定により、リサイクル製品の使用推進及びリサイクル産業の育成に取り組んだ。

稲わらの焼却防止と有効利用促進を図るため、青森県稲わら流通促進会議構成員との意見交換、稲わら収集技術マニュアルを活用した新規取組実施者への個別指導を実施したほか、稲わら流通促進マッチングリストを作成・公表し、取引拡大の支援を行った。

◎関連する指標の動向等



◎令和3年度の主要事業の実績

(単位:千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
ごみゼロあおもり普及啓発事業 (環境生活部環境政策課)	ごみ減量・リサイクル推進講習参加者数 644人 オフィス町内会参加事業所数 976事業所	503
「資源をきれいにまわそう」 適正分別等推進事業 (環境生活部環境政策課)	キャンペーンポスター作成・配布部数 2,000部 小学生3Rチャレンジ事業参加校数 262校(全小学校) 「てまえどり」キャンペーン実施店舗数 3事業者、53店舗 「てまえどり」キャンペーン応募数 1,316件 個別訪問事業者数 22事業者 ごみ処理最適化研修会参加市町村・一組数 17団体 3R推進地域ネットワーク会議参加団体数 40市町村、11一部事務組合、24民間事業者	7,132
プラスチックごみ対策強化事業 (環境生活部環境政策課)	リユース食器普及モデル事業実施回数 2回、延べ8日間 海ごみ発生を抑制する取組に対する補助 2団体 マイバッグ・マイボトル持参啓発店舗用ポスター作成・配布部数 2,000部	6,010
リサイクル製品認定推進事業 (環境生活部環境政策課)	青森県リサイクル製品認定製品数 364製品	1,379
あおもり型稲わら有効利用促進事業 (農林水産部食の安全・安心推進課)	収集技術マニュアルを活用した新規取組実施者への個別指導回数 2回 青森県稲わら流通促進会議構成員との意見交換回数 4回 稲わら有効利用促進及び焼却防止対策連絡会議の開催回数 1回	1,006

Ⅲ－２－② 暮らしと地球環境を守る省エネルギーの推進

施策関係課 環境生活部環境政策課

◎施策の説明

環境にやさしい省エネ型の社会づくりや暮らしづくりを進める。

◎令和3年度の実施状況と成果

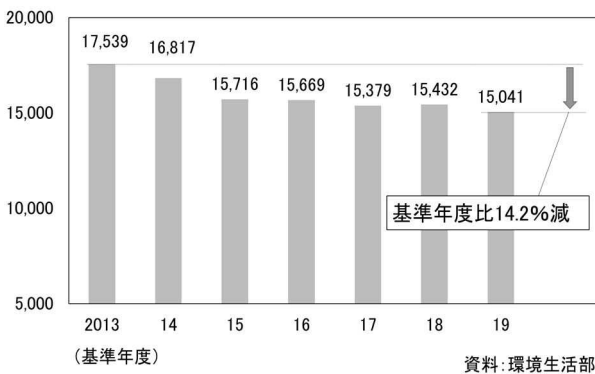
家庭でできる環境配慮行動「エコ活」を促進するため、手軽にできる断熱DIYを紹介するパンフレットを作成し、ホームセンター店頭を設置し周知した。

中小事業者の省エネ対策を促進するため、金融機関等と連携し、省エネ診断の受診を促すパンフレットを作成し、事業者向け説明会を実施したほか、個別事業者に対する省エネ診断及び具体的な対策の実施に向けたサポートを行うとともに、国の補助金等支援制度に関する情報提供等の支援を行った。

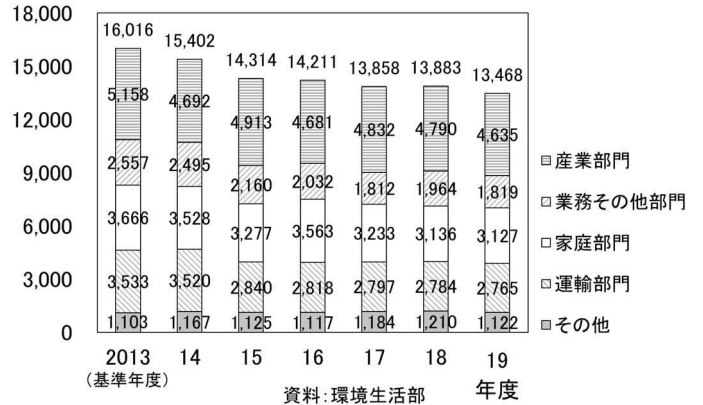
運輸部門のCO₂削減に向けて、エコで賢い移動方法を選択するライフスタイルである「スマートムーブ」を推進するため、エコドライブの普及や公共交通機関の利用促進を図るため、プロスポーツチームと協力し「エコロジーマッチ」を開催したほか、県民や事業者等を対象とした出張講座を実施した。

◎関連する指標の動向等

(千t-CO₂) 青森県の温室効果ガス排出量(総量)の推移(累計)



(千t-CO₂) 青森県の二酸化炭素排出量推移(部門別)



◎令和3年度の主要事業の実績

(単位: 千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
中小事業者省エネグリーンリカバリー推進事業 (環境生活部環境政策課)	金融機関等と連携した、省エネ診断の受診を促すパンフレットの作成及び事業者向け説明会の実施 省エネ診断及び実践サポート実施事業者数 省エネ診断7事業者、実践サポート8事業者	5,458
あおもり脱炭素チャレンジ推進事業 (環境生活部環境政策課)	あおもりECOにこオフィス・ショップ認定事業者数 1,228事業者 スポーツチームとの連携によるスマートムーブ啓発イベントの開催 気候変動適応パンフレットの作成・配布 住まいのエコ活断熱DIYパンフレットの作成・配布	14,719

Ⅲ－２－③ 地域特性を生かした再生可能エネルギーの活用促進

施策関係課 エネルギー総合対策局エネルギー開発振興課

◎施策の説明

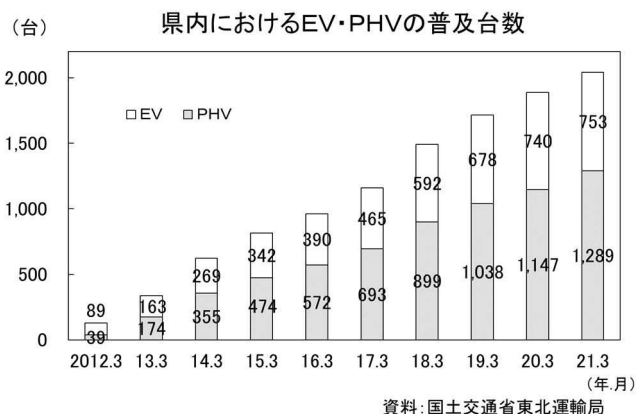
再生可能エネルギーの地産地消や熱エネルギーの活用促進に取り組む。

◎令和3年度の実施状況と成果

地域のエネルギー資源を地域が主体となって活用するスマートコミュニティの創出に向け、本県の課題に対応した実践的な地域エネルギー事業のモデルを検討したほか、積雪寒冷地である本県において需要の高い熱エネルギー（地中熱・温泉熱・未利用熱）利活用事例や補助金等の情報を掲載した「熱利活用事例集」を作成し、県内市町村等へ配布した。

地域由来の再生可能エネルギーや蓄電池の導入、EMS技術の活用、EV・PHVの導入等を組み合わせ、エネルギーの効率的な利活用により、地域のレジリエンス強化など広く地域に恩恵が及ぶような形で利活用する「再生可能エネルギー利活用高度化モデル」づくりを進めた。

◎関連する指標の動向等



◎令和3年度の主要事業の実績

(単位：千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
実践的「地域エネルギー事業」 導入支援事業 (エネルギー総合対策局エネルギー開発振興課)	課題に対応した実践的「地域エネルギー事業」モデルの検討件数 3件	7,470
熱利活用普及拡大事業 (エネルギー総合対策局エネルギー開発振興課)	地中熱・温泉熱・未利用熱利活用事例取材件数 12件 熱利活用事例集配布箇所数 296箇所	2,569
再生可能エネルギー利活用高度化モデル構築事業 (エネルギー総合対策局エネルギー開発振興課)	再生可能エネルギー利活用高度化モデル検討委員会開催回数 3回 40市町村のアンケート実施	15,804

Ⅲ－２－④ 廃棄物の適正処理と環境保全対策の推進

施策関係課 環境生活部環境保全課

◎施策の説明

廃棄物の適正処理を推進し、不法投棄や有害物質による汚染の早期発見・早期解決に取り組む。

◎令和３年度の実施状況と成果

廃棄物の不法投棄等防止対策として、排出事業者や産業廃棄物処理業者に対する立入検査や法令の周知、ドローン活用による不法投棄の現場等における監視指導の強化等を実施した。

県民や事業者等が協働して廃棄物の撤去作業を行う「不法投棄防止撤去推進キャンペーン」の実施を支援した。

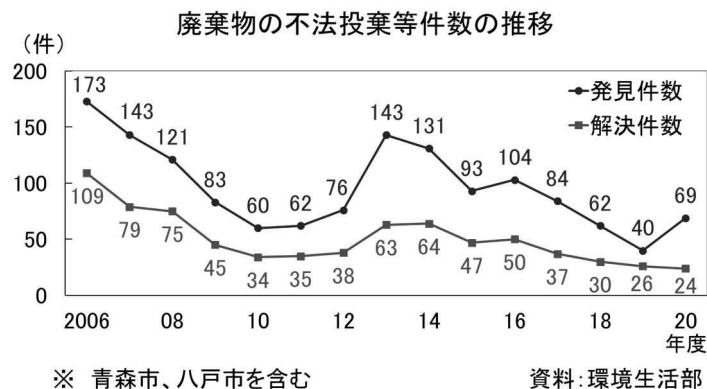
不法投棄等の大半を占める建設系廃棄物の対策を強化するため、建設資材廃棄物の引渡完了報告制度の運用、各主体が取り組むべき行動指針の進行管理、新たな取組の検討等を行った。

高濃度PCB廃棄物等の期限内処分に向けて、PCB使用安定器の処分促進のための研修会を開催したほか、PCB専門員の配置による立入指導の強化やテレビ・新聞等を活用した広報を行った。

青森・岩手県境不法投棄現場跡地の環境再生に向けて汚染地下水の浄化を進めたほか、植栽地の維持管理などを実施した。

良好な生活環境を保全するため、大気や水質のモニタリング及び大気、水質、土壌のダイオキシン類による汚染状況の調査を実施した。

◎関連する指標の動向等



◎令和３年度の主要事業の実績

(単位：千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
産業廃棄物処理業許可指導事業 (環境生活部環境保全課)	産業廃棄物処理業者及び処理施設立入検査件数 374件	5,942
廃棄物処理法周知推進事業 (環境生活部環境保全課)	廃棄物処理法説明会実施回数 6回	1,380
循環型社会協働促進事業費補助 (環境生活部環境保全課)	補助対象団体：あおもり循環型社会推進協議会	2,400

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
悪質不法投棄等調査・撤去指導事業 (環境生活部環境保全課)	不法投棄等発見件数 28件 うち解決件数 7件 (※青森市、八戸市を含まない。) 無人航空機(ドローン)活用現場数 延べ51現場	622
排出事業者適正処理指導事業 (環境生活部環境保全課)	産業廃棄物排出事業所立入検査件数 370件	272
P C B期限内処分徹底事業 (環境生活部環境保全課)	安定器「仕分け人」養成研修会開催回数及び参加者数 5回、70人 P C B廃棄物保管事業者等立入検査件数 463件 テレビCMの放映回数 120回 新聞広告の掲載回数 21回	22,586
環境大気調査・監視事業 (環境生活部環境保全課)	大気汚染常時監視地点数 9地点	4,294
水質監視・調査費 (環境生活部環境保全課) ※p. 85を再掲	公共用水域水質モニタリング調査地点数 128地点	39,280
ダイオキシン類環境汚染防止対策事業 (環境生活部環境保全課)	環境調査地点数 44地点 発生源調査施設数 7施設	11,441
汚染拡散防止対策事業 (環境生活部環境保全課)	浸出水処理施設における汚染地下水の浄化	249,077
環境モニタリング調査事業 (環境生活部環境保全課)	青森・岩手県境不法投棄現場及び周辺の水質モニタリング調査地点数 51地点	18,413
県境不法投棄現場跡地再生事業 (環境生活部環境保全課)	下草刈りやグミの剪定などによる植栽地の管理	117

Ⅲ－３ あおもりの環境を次世代へつなぐ人づくりと仕組みづくり

Ⅲ－３－① 子どもから大人まで、あおもりの環境を次世代へつなぐ人づくり

施策関係課 環境生活部環境政策課
自然保護課

◎施策の説明

あらゆる世代や場面において環境に配慮できる人づくりを進める。

◎令和３年度の実施状況と成果

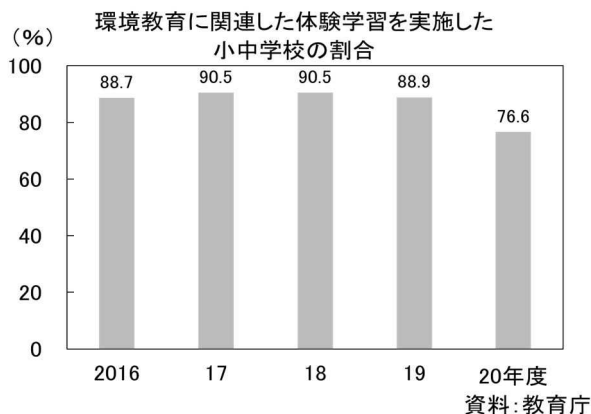
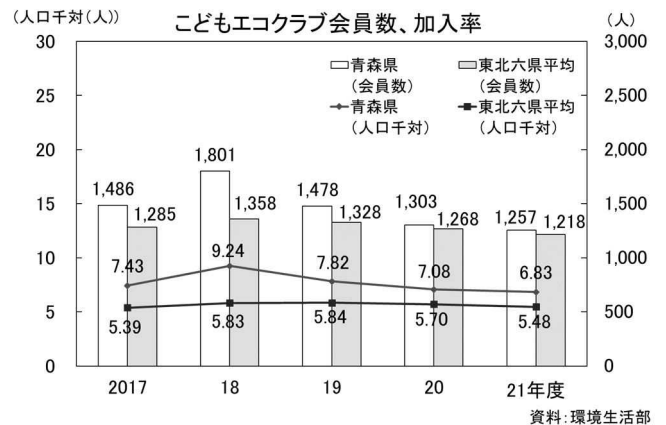
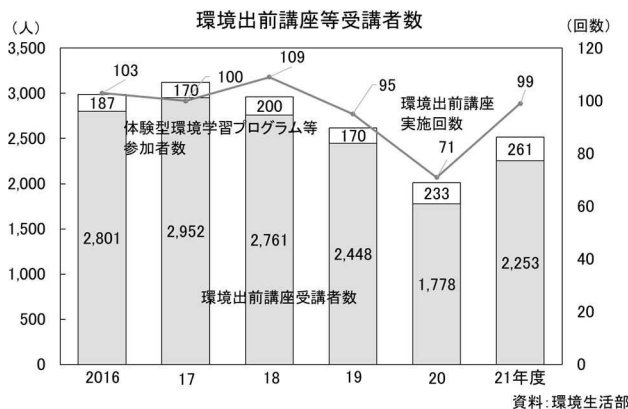
環境教育の担い手として育成した環境教育専門員や地域のNPO法人との協働による環境出前講座を行った。

若手の環境人財育成を進めるため、県内３大学に環境教育モデル事業を委託し、体験型環境教育事業を実施したほか、多様な団体等による環境配慮行動拡大をめざしたモデル事業を３団体に委託して実施した。

地域で自主的な環境活動を行う「こどもエコクラブ」の活動支援として、随時の情報提供のほか、ネットワーク交流会開催時に「こどもエコクラブ」が作成した壁新聞を掲示し、参加者に活動を紹介した。

県立自然ふれあいセンター及び白神山地ビジターセンターにおいて自然観察会等を実施し、自然とふれあう機会を提供した。

◎関連する指標の動向等



◎令和3年度の主要事業の実績

(単位：千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
あおり環境人財育成推進事業 (環境生活部環境政策課)	地域課題解決型授業参加者数 延べ約500人 モデル事業参加者数 延べ150人	15,946
環境教育推進事業 (環境生活部環境政策課)	環境出前講座実施回数及び受講者数 99回、延べ2,253人 環境教育専門員新規認定者数 1人 ネットワーク交流会参加者数 30人 こどもエコクラブ会員数 1,303人 環境月間における関連図書等展示協力図書館数 20館	1,674
自然ふれあいセンター管理運営事業 (環境生活部自然保護課)	入館者数 22,878人 自然観察会実施回数 19回	28,466

Ⅲ－３－② 環境にやさしい行動を促進する仕組みづくり

施策関係課 環境生活部環境政策課
農林水産部林政課

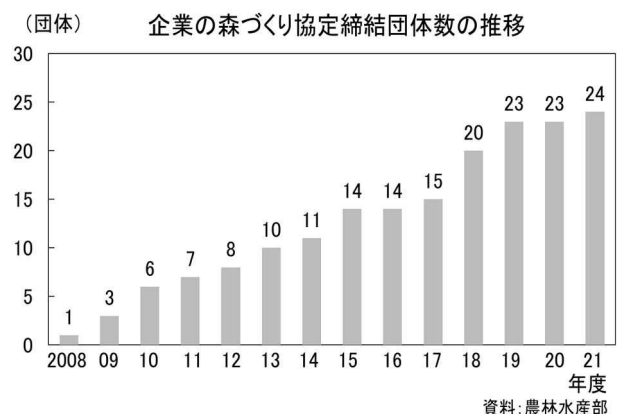
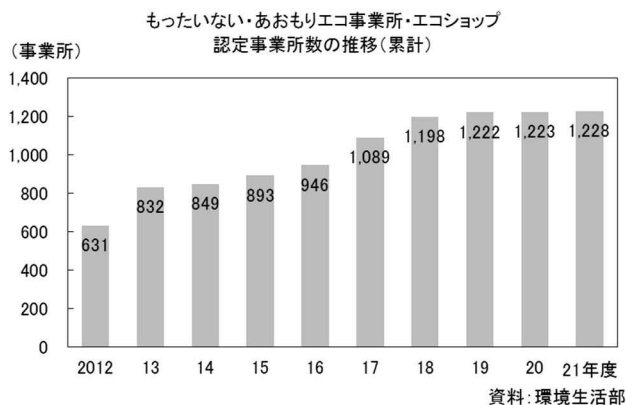
◎施策の説明

企業や消費者が環境にやさしい行動を継続して実践できる仕組みづくりに取り組む。

◎令和3年度の実施状況と成果

家庭での「エコ活」促進や事業者、各種団体、行政機関等で構成する「もったいない・あおり県民運動推進会議」において、「あおり脱炭素チャレンジ宣言」を採択するなど、関係者が一丸となった取組を推進するための普及啓発を展開した。

◎関連する指標の動向等



◎令和3年度の主要事業の実績

(単位：千円)

事業名 (担当課)	事業実績	事業費
あおもり脱炭素チャレンジ推進事業 (環境生活部環境政策課) ※p. 89を再掲	あおもりECOにこオフィス・ショップ認定事業者数 1,228事業者 スポーツチームとの連携によるスマートムーブ啓発イベントの開催 気候変動適応パンフレットの作成・配布 住まいのエコ活断熱DIYパンフレットの作成・配布	14,719
企業による青い森づくりサポート事業 (農林水産部林政課)	青森県森林づくり協定締結件数 2件 協定に基づく森林整備面積 2.72ha	219